

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	名古屋市西部地域療育センター			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 24日		～	令和8年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～	令和8年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小児科医をはじめ、PT、OT、ST、心理士等多くの専門職があり、各専門職とも子どもの支援を検討することができる。	子どもへの支援について、センター全体でのケース会議や、専門職の助言を得ながら療育プログラムや児童発達支援計画を作成しています。 また、センター内での学習会を開催し、職員のスキルアップに繋がっています。	専門職による保護者向けの研修の機会を増やす等、より相談しやすい形を整えていきます。

2	クラス分けを行い、いつも同じ職員、同じ子どもたちという環境の中で、ステップアップを目指していける。	担任間での情報共有を行い、子どもたちの発達に合わせた取り組みを継続的に行えるようにしています。	専門職の助言も得ながら、より丁寧で細やかな支援ができるよう努力したいと思います。
3	看護、医療職が常勤しており、医療的ケアにも対応できる。	主治医である医療機関との連携を図り、保護者との情報共有を行いながら、安心、安全な医療的ケアが提供できるようにしています。	今後も、安心、安全な医療的ケアに向け医療機関との連携や、保護者との情報共有を行っていききたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化	開所後32年を経過し、老朽化している箇所や、使いづらさを感じる場所があります。	必要な予算要求を行いながら順次修理などを行います。利用者がケガ等をする事がないよう配慮していきます。
2	広いエリアであるが、通園バスが1台での運行となっており、利用者のニーズに応えられていない。 バスコースが長く、児童の乗車時間が長くなっている。	広いエリアですが、より多くの方に通園バス利用をしていただくために、コースの短縮が難しくなっています。	令和8年度から、通園バスが2台となりますので、乗車時間の短縮ができるようにバスコースを作っていけるように努力していきたいと思っています。

3			
---	--	--	--